

8月8日(火)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ
日刊サマーミュージア 朝刊

Hobo Nikkan Summer Muza



香り高く熱いラフマニノフ!

お おっ、モーツァルトの「交響曲第32番ト長調」って、こんなにいい曲だったの? とまずは快いショック。猛暑でフラフラになった頭に、ガツンとばかりにお見舞いされた。出だしの硬質なスティックで叩いたティンパニと、フレッシュな弦の滑り出し。引き締まったスピーディな演奏は、まるで清涼飲料水のように。

続いてはフォーレの組曲「ドリー」(ラポーによる管弦楽編)。同規模の編成なのに、こんなにも別物の音色になるんだ、とまた驚き。夢のようにソフトな世界に癒された。

何ととっても素晴らしかったのは、休憩をはさんで後半に演奏された生誕150年のラフマニ

ノフ「交響的舞曲」。第2次世界大戦の暗雲漂うなか生み出された、ロマン派の終わりを象徴する名作が、何と香り高く熱く演奏されたことか! この複雑精妙に書かれたオーケストレーションで表現されているのは、非人間的な機械的文明に立ち向かおうとする、人間性の側からの闘いだと思うのだけれど、その深いメッセージが、聴き手に確かに伝わるものになっていた。

賞賛されるべきは、昭和音楽大学管弦楽団とテアトロ・ジリオ・ショウワ・オーケストラの高い技術と集中力、そしてそれをリードした時任康文(この人は昔から個人的にずっと注目し応援している)の無駄なく的確な、音

楽への献身にあふれる指揮。

アンコールはラフマニノフ「ヴォカリーズ」。悲しみに沈んだ響きのなか、コンサートマスターとクラリネットのソロが身に沁みました。終わったあとの静寂を保ったお客さんも、しっかり音楽の一部となっていて、とてもいいコンサートだった。

(林田直樹/音楽ジャーナリスト・評論家)



右：時任康文(指揮)
左：砂原千聡(コンサートマスター)

ご来場者の声

毎年ミュージアで昭和音大のオーケストラを聴くたびに「やあ、しばらく見ないうちに、随分と立派になったもんだねえ!」と、お盆に会う親戚の子みたいな驚きを感じます。きっと「オジサンはいつもおなじこと言うねえ…」って思うんだろうが、いやいや、3曲それぞれの色合いを描き分けて、なかなか頼もしい演奏だったぞ。また来年、さらなる成長を楽しみにしているからな。たくましく育ておくれ。オジサンは願っている。(50代・地方公務員・本当に地方公務員) / フォーレのドリー組曲オケ版がちゃんと聴けて良かったです。交響的舞曲も1楽章のサクセス&木管の掛け合いやフィナーレがとてもよく、十分楽しめました。良いプログラムでした。(60代・おけらマン) / アンコール曲が、とても沁み入りました。他のオーケストラでは為し得ない芸当です。(40代・会社員・YORO乃瀧) / こんなに上手になった若者の活躍できる場所がこれからも増えてほしいと感じます。(60代・匿名) / 若い音楽家のオケということで、あまり期待していませんでしたが、良い意味で期待を裏切られました。とくに金管セクションが素晴らしい。とても良かったので定期会員になろうかと思えます。(50代・会社員・みお)

Next!

サマーミュージア

明日のチケット情報

日本フィルハーモニー交響楽団

カーチュン・ウオンの描く『展覧会の絵』

8/9(水) 15:00 開演 (14:00 開場)

会場：ミュージア川崎シンフォニーホール

ぶらあぼONLINEにて
Interviewカーチュン・ウオン
掲載中!



『展覧会の絵』
にも
ご出演!

● プレトーク (14:20~14:40) **当日券あり**

出演者によるプレトーク

※本公演と同じお席でお楽しみください。

- ヴェルディ：歌劇『運命の力』序曲
- 菅野祐悟：サクソフォン協奏曲『Mystic Forest』
- ムソルグスキー (ラヴェル編曲)：組曲『展覧会の絵』

[料金] SY4,000 AY3,000
BY2,000 U25:各席種半額

当日券あり

Tel・Web予約 当日券カウンター
▶ 当日 13:00 まで ▶ 14:00 より



ご来場者の声

小川さんと田久保さんの演奏を聞いて、帰って、すぐにピアノの練習がしたくなりました。(10歳未満・小学生・みそ) / 美しい音色でずっとききたかったです。来年の公演も聴きたいです。(10代・匿名) / たのしかった。えんそうがじょうずだった。きれいなきよくだった。(10歳未満・幼稚園・ひかる) / 昔、ピアノを弾いていたあの頃が蘇ってくるようなキラキラと輝く素敵な時間でした。(中略) 本当に素敵な演奏をありがとうございました。(20代・声優・クシコスポスト) / きよくのはくりよくがすごかった。(10歳未満・小学2年・なっち) / 末子がもうすぐ5歳になるタイミングで家族5人で初めて念願のイツ・ア・ピアノワールドに参りました。とても素晴らしい演奏と、ピアニストとして成功した萌夏さんとの共演に涙が出そうになりました。素敵な時間を有難う御座いました!(40代・英語講師・ベン) / みんなで仲良く見ることが良かったし、子ども席で指なども見やすく楽しかった。(10代・小学生・はるはる) / とてもたのしかったです。えんそうがとてもじょうずかったです。(10歳未満・小学生・ゆう花)



左:小川典子、右:田久保萌夏(ゲスト出演)

いでステージのまばゆい光に我を忘れる。客席は暗く、ステージは明るく、ピアノは輝いている。ダンパーの動きもよく見える。

アンコールはラフマニノフ『6つの小品』よりワルツ op.11-4。一心同体で楽しそうに連弾する二人はなぜかよく似ている。音楽の命脈を繋いでほしいという小川の願いが実を結んだ喜びを滲ませる。そして「イツ・ア・ピアノワールド」の爽りは職業ピアニストを輩出するにとどまらない。こどもたちは一流の音楽と本物の場から十人十色の気づきを持ち帰っていた。ホームコンサートに招かれたようなくつろぎと、予想を超えた未来への期待があふれる演奏会であった。(鉢村 優/音楽評論家)

8さいの「あーちゃん」さんがすてきなピアノをうかいてくれました!



子どもたちを包む音楽の優しい抱擁

8/5 イツ・ア・ピアノワールド ©T.Tairadate

開け放ったピアノから柔らかな音が立ち昇り、やがてピアノシモで降りてくる。音の滴りと共にざわめきが鎮まる——小川典子の思い入れ深い「イツ・ア・ピアノワールド」へ、聴き手は音楽の優しい抱擁で招き入れられた。ゲストピアニスト田久保萌夏は小学生の頃に本公演を聴いたという。「お気に入り」と語るラフマニノフ編

曲のクライスラー『愛の喜び』でピアノの丹田を深々と鳴らす。

招かれてステージへ向かう子らは嬉々として、客席の家族に手を振りつつ肩をふれあいびしりと座る。子どもたちがステージに上って聴けるのは4年ぶりである。小川がラヴェル『ソナチネ』で虹色の音を広げると、ある子は中立ちになってピアノの中をのぞき込み、ある子は天を仰



- 左から「宇治抹茶黒みつソフト」 480円
「ばふえそふとトロピカルマンゴー」 650円
「ヨーグルトドリンク」 350円
「プレミアムチョコソフト」 500円

※価格は全て税込

暑い夏はやっぱりアイス!!

連日の暑さに打ち勝つべく、アルバイト4人で仲良く「マザー牧場CAFE」に行ってきました!

ミュージアのお隣ラゾーナ川崎プラザ3Fにあるこちらのお店、種類豊富なメニューで迷いに迷い、4人皆別のものをオーダー♪

期間限定のマンゴーをたっぷりのせた「ばふえそふと」、王

道の抹茶やチョコなど、どれもちよどよい甘さで最後までおいしくいただきました!

ソフトクリームだけでなく、ヨーグルトドリンクや飲むソフトクリームまであり、いただいたヨーグルトドリンクは軽めでさっぱりとした暑い夏にはぴったりの味わいでした。

身体に堪える暑さが続く毎日、クールダウンにマザー牧

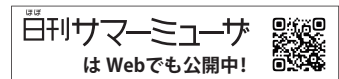
場CAFEの美味しいアイスやドリンクはいかがですか?

(丁合機に片思い4人組)

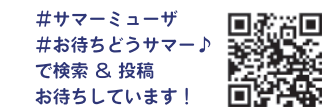
Mother's Farm CAFE & SOFTCREAM logo and address: ラゾーナ川崎プラザ B

パートナーショップ特典 飲食代5%引き ※優待券持参者および同伴者

パートナーショップ優待券のご利用は 8月11日(金・祝)まで!ぜひご利用ください!



フェスタサマーミュージア公式サイト https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/



- Twitter: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki

音楽の良さをしみじみと感じます。リハーサルも本番も一度きりなので、どちらも貴重ですね。本番の演奏をお客様が楽しんでくださっている姿を想像しながら、そんな素敵な時間を少しでも過ごしておりました。
本日も一度きりのライブ。皆様、どうぞお楽しみくださいませ! (事業企画課・Y)

日刊サマーミュージア

サマーミュージアも残すところあと少し。連日たくさんのお客様の皆様とお客様をお迎えできていると思います。
私たちが事業担当は、担当する公演の本番を客席で聴くことはできません。その代わりにリハーサルを聴かせていただくことがあります。私はリハーサルがスタートすると、急いで階段を上り(あまり目立たない2、3階のドアからこっそり入るため、やや息切れしながらも、一人の観客の気持ちで演奏を聴いています。
サマーミュージア期間中は慌ただしい時も多いですが、じっくりリハーサルを聴くそのひとときは極上の別世界です。(途中で呼び出されて業務に戻ることもありますが...) 客席で聴くと改めて生の音楽の良さをしみじみと感じます。リハーサルも本番も一度きりなので、どちらも貴重ですね。本番の演奏をお客様が楽しんでくださっている姿を想像しながら、そんな素敵な時間を少しでも過ごしておりました。

スタツフ日誌